**＜神奈川報告＞**

**12.19関東甲ブロック会議**

１．なくすな保険証！のとりくみ

（１）神奈川県との交渉、各市町村国保担当課との懇談の成果

* 市町村国保の保険証は2025年7月31日まで存続する。8月1日以降は、現行の保険証はなくなり、資格確認書となる。現在の政府方針は、「マイナ保険証を持っていない人への資格確認書の発行は、自治体の職権でできる」だが、神奈川県の自治体は「マイナ保険証を持っている人を含め、被保険者全員に資格確認書を発行」の意向が強いことがわかった。**11月14日の神奈川県との交渉では、「初回については、資格確認書を全員交付する考えでいる」と回答。年明け以降に、神奈川県・市町村、後期高齢者医療広域連合、国保組合で協議し統一してすすめる予定とのこと。**
* 神奈川ではこうした到達点をつくったが、全国的には「マイナ保険証を持っている人を含め、被保険者全員に資格確認書を発行」という運動は取り組まれていない。

（２）川崎市で陳情不採択、大磯町で陳情「趣旨了承」、平塚市で請願

* 川崎市議会への「保険証を残せ」の陳情は、みらい・共産が賛成したが、自民・公明・維新が反対し不採択となった。
* 大磯町は、湘央建設、神奈川土建が陳情書を提出し、12月5日の委員会で陳述。委員会議決が3対3となり、委員長決済で趣旨了承となった。本会議で議員による意見書提出をしようとしていたが、委員会が趣旨了承となったため提出できなくなった。
* **平塚市では、平塚地域社保協が請願書を提出し、12月18日に環境厚生委員会で審議。**

（３）学習会の推進

* 11月30日に、保険医協会主催（連絡会後援）で、なくしていいのか保険証シンポジウムを開催（会場＋オンラインで57人参加）。神奈川県建設国保事務局長の坂間圭介さんの講演、パネルディスカッションは、年金者組合 委員長の村田泰子さん、NPO法人横浜市精神障害者家族連合会 副理事長の安富英世さん、建設労連書記局の曽我勇気さん、保険医協会理事の藤田倫成さんが登壇し、保険者・被保険者・医療機関という立場から発言された。保険証を残さなければならないと実感するシンポジウムでした。

（４）宣伝・署名行動

* 連絡会として、11月25日（土）13:30～15:00に桜木町駅前で実施。参加は、保険医協会7人（うち開業医2人）、建設労連・神奈川土建4人、神奈川労連3人、自治労連3人、年金者組合2人、福保労1人、国公労連1人、なくす会1人、日本共産党1人、川崎社保協1人、県社保協2人の計11団体26人。チラシ・ポケットティッシュ1000枚、署名42筆、シール投票75（反対72、賛成3）でした。
* **12月14日（木）14:00～15:00伊勢佐木町有隣堂前で宣伝行動。5団体14名（保険医協会役員3事務局3ほか、年金者組合、建設国保組合、建設労連、自治労連）参加。署名：26筆（画版3つにて**）。**チラシ・ティッシュ：時間前に500個配り切りました。印象に残った話など：40代サラリーマン風の男性「国はなぜこのようなこと（保険証廃止）をするのか。資格確認書を申請しないと発行されないなら、廃止はやめればいいのに」スピーチに聞き入っていた60代くらいの女性「マイナンバーカード、よくわからないのよ。保険証なくなったら困るのよねえ」と署名をしてくれて、ティッシュは持って帰って夫に署名させる、とのことでした。ほかにも３人ほどから話しかけられ、ほとんどが政権への不満の声でした。を実施する。**
* **年明け後は、1月18日（木）14:00～15:00伊勢佐木町有隣堂前、2月22日（木）14:00～15:00伊勢佐木町有隣堂の予定。**
* 次回の連絡会事務局会議は、1月12日（金）13:00～保険医協会会議室で開催します。世論を広げる取り組み、マスコミ対策など、今後の運動のすする方について論議します。

２．国保の取り組み

（１）11月18日（土）「全県国保改善交流集会」

* 11月18日、会場42人、オンライン13ケ所の参加で、「全県国保改善交流集会」を開催。感想は概ね良好。難しいという声も出されている。**かつて、「国保とは」の学習会を午前中に行って、午後交流会したことがあった。今後の開催のしかたについて論議していく。**

（２）市町村国保調査

* 11月18日の国保交流会に、2023市町村国保調査表、調査の概要をまとめて提出した。
* その後、若干の修正が入り、確定版として市町村に送付した。県社保協のホームページに載せた。

（３）市町村国保課との懇談

* 33市町村全て懇談完了し、国保交流集会で特徴について報告した。

（４）中央社保協「新国保パンフ」の普及

* 中央社保協の新国保パンフ（1冊50円）は、計1000冊注文した。
* 団体別では、すでに保険医協会が200冊、川崎社保協200冊、平塚社保協20冊、茅ヶ崎社保協160冊、建設労連100冊の注文が届いている。すでに700冊を超えて普及。

（５）12.17国保改善運動交流集会への参加

* 12月17日（日）の中央社保協の国保改善運動交流集会には、光野さん、藤井さん、根本が会場参加予定だったが全滅。藤井さん、佐藤さん、中屋さんがZOOM参加。

３．介護保険改善の取り組み

* **12月10日（日）建設プラザで、「介護保険のいまと未来を考えるつどい」を開催しました。参加は、会場32人、ZOOM17カ所で、50人を超える参加でした。つどいの講師レジュメ・資料は、県社保協ホームページに掲載しました。**
* 11月11日の介護・認知症無料電話相談は、電話3回線を設置し、民医連よりケアマネ、ソーシャルワーカーの参加をいただきました。赤旗新聞の折り込みとマスコミに、事前告知と当日の取材をお願いしました。当日、NHKの昼のニュースで報道され、それから電話が鳴りっぱなしとなり、33件の相談が寄せられました（昨年15件）。
* 12月4日の「介護保険制度の改善と介護従事者の処遇改善を求める請願署名」提出行動に、藤井・根本が参加し、1241筆持参しました（全体で6万5千筆）。第2次集約2月末ごろ。最終5月末。

４．社会保障入門講座

* 11月16日、「これだけは知っておきたい国保・後期高齢者医療」開催し、保険医協会、神商連、湘南建設組合、共産党、川崎社保協、県社保協から6人受講。国保については、歴史としくみの話が大事だと実感した。
* **次回は12月21日（木）15:00～16:30「年金制度について」内山正徳さん（神奈川自治体問題研究所副理事長）にお話しいただく。各組織で積極的に参加者を出していただくようお願いします。**
* **次々回は、1月18日（木）15:00～16:30「生活困窮・生活保護」峯松益幹さん（神奈川県生活と健康を守る会事務局長）です。**

５．保健・医療・介護分野の対県交渉

* 保健・医療・介護分野の神奈川県との交渉は、11月14日（火）9:45～12:00波止場会館4F大会議室で行った。参加者は計23人（保険医協会7人、新婦人1人、神商連1人、医労連4人、福祉保育労1人、年金者組合1人、建設労連1人、日本共産党県議会議員1人、横浜社保協1人、相模原社保協1人、県社保協1人、県職労連3人）。
* 県民連絡会の重点要求提出交渉が12月20日に行われる。回答は3月末。保健・医療・介護分野の重点要求2項目については、マイナ保険証一元化問題（国保）、小児医療費助成の拡充問題としました。

６．日本高齢者大会in東京

* 11月12～13日、日本高齢者大会in東京が開催された。11月22日の第6分科会「医療費無料化、自己負担ゼロこそ求められる」で、神奈川県保険医協の田中麻衣子さんが「ゼロの会」の取り組みを報告。会場30人参加、オンライン13ヶ所だった。2日間を通じての神奈川からの参加者は200人ほどとなった。
* 神奈川高齢期運動連絡会の機関紙「輝け高齢期」を、日本高齢者大会特集として年内に発行する。保険医協会馬場副理事長を含め、年金者組合、民医連、県職退職者会の方からの感想文を載せる予定。
* 来年2月20日に、神奈川の高齢期のつどいを横浜市鶴見区で開催する予定ですが、実行委員会が開催できていません。

７．消費税減税・インボイス、全県一斉宣伝行動

* 全県一斉宣伝行動は12月24日を中心に実施し予定。消費税減税署名（消費税減税とインボイスの2項目）ととともに、保険証残してください署名に取り組む。
* 12月12日の全県一斉宣伝行動の西湘地域キャラバン①に根本と藤井が参加し、大磯町（11人参加）、二宮町（6人）、箱根町（3人）、真鶴町（4人）、湯河原町（4人）で宣伝行動実施。消費税5％署名8筆、保険証残して署名9筆。

８．横浜市・金沢区への重度訪問介護に関する要請

* 8月31日に、神奈川肢障協と障神奈連、社保協が横浜市金沢区高齢・障害支援課と重度訪問介護の利用について懇談し、重度訪問介護の制度や運用問題について、金沢区から9月29日付で回答がとどいた（内容的には横浜市の回答）。
* 10月21日の相談会で、回答評価と今後の取り組みを検討し、当事者の上野さんが横浜市に対し、「重度訪問介護の充実を求める要望書」を作成し提出しました。
* 11月18日の相談会で今後の取り組みについて話しあいし、1月10日14:00～16:00で横浜市の健康福祉局障害自立支援課と懇談することとなった。

以　上。